

会員からの寄稿



朝倉 文彦

二〇一五年卒（福井）

思えばお寺の娘と結婚して住職に「行け」と言われて真宗学院に通いだしたのが始まりでした。

仏教のことも真宗のこともまったくわからない状態で、授業でどんどん出てくる先生の言葉に頭がパンクして打ちのめされる感じでした。とにかく一番前の席に座って（住職に言われて）出席だけがしようと思いつきながら始まった学院に通う生活ですが会社の協力もあり、ほぼ欠席することなく卒業することができました。

振り返ってみるとあっという間に三年が過ぎましたが、同時に多くの思い出が残りました。年に一度の上山研修では普段の生活から少し離れ、同朋会館にて同級生をはじめ、夜間、夏期の方、同窓生、そして先生方と三日間寝食を共にして過ごしました。講義や座談、御影堂での朝のお勤めなど心も身体も健康になりそうな感じがしました。

また夜になれば、部屋で同級生達と遅くまで語り合いました（飯山先生に注意されたこともありましたが）。若い時から先輩のかたまで幅広い年齢のひとがおりましたが、それぞれにいろんな境遇、想いがありこうしてこの場にいる。まさに「真宗学院にたずねきたらしめたもうおんこころざし」があるんだと思えました。週に一度の学院生活ではなかなかみえないことも、同朋会館の生活においてはみえてくることもあります。そんな意味でも上山研修は特に良い思い出です。

また、在学中には新校舎の建設、開校という大垣真宗学院のひとつの歴史に立ち会えたこと、そして新校舎での初の卒業生となれたことは大変嬉しく思います。卒業してからは仕事に追われる日々で、真宗聖典が「たまには開いてよ」と叫んできそうな感じになっていますが、今回の卒業生で月に一回、お聖教の素読・輪読をする機会をつくっていただきましたので、毎回とはいきませんが参加させていただいております。せっかくいただいた縁ですので長く続けていければと思います。

また、同窓会員として大垣真宗学院の益々の発展の為、できる限り協力してまいりますので今後ともよろしく願います。



熊谷 裕子

二〇一五年卒（大垣）

今年の春、真宗学院を卒業し、同窓会の仲間入りをさせていただきました。最初の二年間は別院一階の教室で、最後の一年間は、真新しい学舎にて受講するという稀有なタイミングで学院にお世話になりました。

私は結婚が御縁でお寺に入りました。自分の知識のなさに悔しさ半分、危機感半分で入学を希望しました。自分の理解力や記憶力の低さを痛感しつつも、目から鱗、という経験が何度もあり、楽しく、苦しく、とても貴重な時間だったと振り返ります。階段に掲げられた「呼応学舎」の言葉に、毎回感動し、同時に考えさせられたものです。



学院入学に際し、時期尚早ではないかという住職と夫に対し、義母が背中を押してくれたことに感謝しています。六月に行われた同窓会に揃って出席させて頂いたことは、大きな喜びです。

自坊は兼業で、昨年から月参りの多くを私が担当させて頂くようになりました。学院での学びが現場に反映され、また自分の勉強不足が顕かにされている日々です。自分が勉強する中で感じた感動を門徒さんにも味わって頂きたくて、門徒さんの足がお寺（聴聞の場）に向くよう試行錯誤を始めたところです。

五月からは真宗学院の卒業生の有志での輪読会が始まりました。又、夫が先に参加していた教科研究室に、私も参加させて頂きました。夫は同朋でもあり、家庭でも共に勉強していききたいという思いからです。まるで熱心なようですが、実際は「難しいねえ。」が合言葉のようになっております。真宗に出逢えたこと、お勤めする身になったこと、様々な不思議な御縁を喜びつつ、今後も勉強を続けていきたいと思っています。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

同窓会からの報告

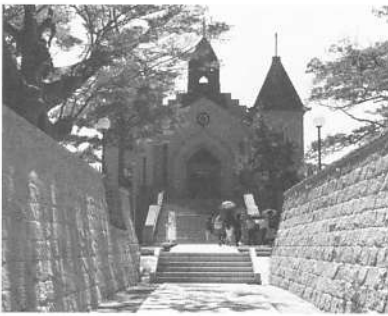
◇越後研修に参加

本山同朋会館が改築工事のため、本年度は九月二―四日に実施された学院の「越後研修」に参加させて頂きました。赤倉ホテルを宿に御旧跡巡りや学習会など、とても充実した二泊三日の研修となりました。

昨年三月にも学院と同窓会の有志による一泊二日の越後研修がありました。その時は季節外れの大寒波に見舞われ、大雪に身を縮めながらの研修でした。今回は快晴に恵まれ、汗をかきながらの研修となりました。

今回印象に残ったご旧跡は、宗祖の枕石伝説が伝わる上越市柿崎区の本願寺派の浄善寺です。インド・パゴタ様式で昭和初期に建立されたコンクリート造の本堂で、むかし宗祖が吹雪の夜に石を枕に寝ておられたことに由来するとは、とても想像できない外観でした。しかしながら、本堂内に陳列されていた枕石は、触らせてもらうと、当然のことながらひんやりとした感覚ながらも、角のない、細長い丸石で、「これなら、夏枕にするならいいかもな」という感想も聞かれました。

講義は、一昨年の上山奉仕でもお世話になった高田教区教化研鑽室長の井上円（いのうえ・まどか）先生に、法然上人の選択本願念仏集についてお話しいただきました。



◇本年度総会におきまして、二〇一五年年度の事業報告と決算報告、会計監査報告、二〇一六年度の事業計画と予算案を審議いただき、原案の通りご承認いただきました。

同窓会の運営につきまして、会員各位のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2015年度収支決算概要

収入	前年度繰越金	1,678,786
	終身会費	210,000
	総会参加費	111,500
	助成金	7,600
	募金事業預り金	60,000
	雑収入	210
収入計		2,068,096
支出	会議費	188,257
	事業費	44,799
	事務運営費等	57,323
	募金事業預り金	70,000
支出計		360,379
次年度繰越金		1,707,717
支出計		2,068,096

2016年度予算案

収入	前年度繰越金	1,707,717
	終身会費	200,000
	総会参加費	180,000
	利息	200
収入計		2,087,917
支出	会議費	260,000
	事業費	45,000
	事務運営費等	105,000
	予備費・慶弔費	30,000
次年度繰越金		1,647,917
支出計		2,087,917

第10回同窓会総会のご案内

二〇一七年六月十日（土）、大垣真宗学院「呼応学舎」で予定しております。詳細につきましては、次年度の上山奉仕団（八月二十六、二十七、二十八日の予定）のご案内とともにお知らせいたします。ぜひご参加お待ちしております。